

## 【eプラットフォーム】テーマ別オンラインフォーラム 開催プログラム

2021年8月23日現在

	テーマ	キーノートスピーチ	開催日・時
1	<p><b>「地域活動を応援するオンラインプラットフォームとは」</b></p> <p>コロナ禍の中で多くの活動が制約を受ける中、オンラインによる新たな活動が次々に生まれています。定年後の出番づくり、文化芸術活動、市民講師育成、企業人材育成など、分野・世代・地域が異なるこれらの活動には、これからの社会に活躍する市民を応援する共通項があります。</p> <p>本フォーラムでは、これらの活動団体・関係者のモチベーションや実践を学び合い、それぞれの活動に生かすとともに、コロナにも強い教育・地域活動を育てるeプラットフォームの進化を考えます。</p>	<p><b>「効果的なプラットフォームをいかにつくるか」</b></p> <p>飯盛 義徳氏 慶應義塾大学総合政策学部教授</p> <p>NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会理事 ＜著書等＞『地域づくりのプラットフォーム』（学芸出版社）、『場づくりから始める地域づくり』（共著、学芸出版社）ほか</p>	<p>2021年4月28日(水) Zoom オンライン開催</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">開催済み</div>
2	<p><b>「成熟社会で働くとは」</b></p> <p>人生100年時代という言葉が多く聞かれるこの頃。単なる長寿化ではなく、社会観・価値観の変化によって、社会や人との関わり方がどのように変化するのでしょうか。これまでとは違う考え方で生き方や働き方を探すことが求められるかもしれません。このフォーラムでは、「成熟社会」という視点でさまざまな識者の論説をまとめてきた佐藤友美子氏より、「成熟社会」という社会観のとらえ方や教育現場での取り組みを聞き、その上で、「成熟社会」で求められる人には何が大事か、どう育て支援したら良いか、新たな視点や問題意識を皆さんで共有し、一緒に考えます。</p>	<p><b>「学び続ける力を育てるために 次世代育成の現場から」</b></p> <p>佐藤 友美子氏 追手門学院大学地域創造学部教授・成熟社会研究所主宰、2021年2月までNHK 経営委員、元、サントリー不易流行研究所・次世代研究所部長、サントリー文化財団上席研究フェロー</p> <p>＜著書等＞『一人で思う、二人で語る、みんなで考える』（岩波ジュニア新書）、『つながりのコミュニティ』（共著、岩波書店）、『成熟して人はますます若くなる』（共著、NTT出版）ほか</p>	<p>2021年8月1日（日） 19：00～20：30 Zoom オンライン開催</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">開催済み</div>
3	<p><b>「AI、DX時代に社会人の学び方はどう変わるか」</b></p> <p>新型コロナ感染拡大の中で、対面からオンラインへ、集合型からリモート参加型へと教育・学習の形態も広がっています。ウェビナーやコース管理システムによる評定のデジタル化など、新たな学習形態が取り入れられていますが、既存の発想を超えた創造的な学習は生まれているのでしょうか。</p> <p>例えば、膨大な業務データを瞬時に機械学習させ、新たな知識資</p>	<p><b>「多様化する学習法-欧米に見るイノベーション」</b></p> <p>立田 慶裕氏 神戸学院大学人文学部教授、放送大学客員教授</p> <p>国立教育政策研究所名誉所員、NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会会員 ＜著書等＞『生涯学習の新たな動向と課題』（放送大学教育振興協</p>	<p>2021年8月8日（日） 13：30～15：00 Zoom オンライン開催</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">開催済み</div>

	<p>産を現場から経営層まで共有・学習する企業の AI 経営では、一人ひとりがデータ・知識の発生源という意識が生まれ、主体的な学習者となることで、既存の知識・経験・前例を元にした学習では見られない、学習の場づくりと課題解決行動が起きています。このような主体的参加・知識形成・課題解決行動は、インターネット市民塾で見られてきたことと共通するものがあります。</p> <p>デジタル化や AI 活用の普及により、企業や社会生活の中での意識・行動の変容が生まれている中、教育・学習機関ではどのような新たな学び方が取り入れられ、今後どのように変わるのでしょうか。</p> <p>海外の取り組みなどを専門家に紹介していただき、それぞれの活動・事業におけるこれからの社会人の学びの場づくり、プラットフォームづくりを考えます。</p>	<p>会)、『キーコンピテンシーの実践 -学び続ける教師のために-』(明石書店)、『学習の本質 -研究の活用から実践へ-』(OECD、立田慶裕監訳、明石書店) ほか</p>	
4	<p><b>「人、情報、学びがつながるユニバーサルなプラットフォームをどうデザインするか」</b></p> <p>複雑に変化する社会で、人はいつも目標や生き方が明確とは限りません。明日に向かって学ぶテーマを持っているとも限りません。また、成熟に伴い、加齢や障害の影響を受けることもありうるでしょう。</p> <p>アウトカムありきの参加ではなく、人生を歩く一人の目線で学びが見つかる場、いつでもだれでも立ち寄れる場=プラットフォームは創れないでしょうか。</p> <p>人や情報の関わりから、明日の生き方、学ぶテーマが見つかる場、創発やソーシャルイノベーションが生まれる場には、何が必要か、情報社会のユニバーサルデザインの専門家と一緒にプラットフォームのあり方を考えます。</p>	<p><b>「誰もがつながりやすいユニバーサルなプラットフォームデザインとは」</b></p> <p>関根千佳氏</p> <p>同志社大学大学院総合政策科学研究科ソーシャルイノベーションコース客員教授、株式会社ユードイツ会長兼シニアフェロー &lt;著書等&gt; 『ユニバーサルデザインのちから』生産性出版)、『スローなユビキタスライフ』(地湧社)、『シニアよ、IT を持って地域に戻ろう』(NTT 出版)、ほか</p>	<p>2021 年 8 月 22 日(日) 19:00~20:30 Zoom オンライン開催</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">開催済み</div>
5	<p><b>「人生 100 年時代の生き方、働き方、学び方」</b></p> <p>人生 100 年時代は、単に長寿化ではなく、さまざまな社会的変化と人の生き方の変化が生まれると言われていています。デジタル革命、With コロナによって、予想もしなかった大きな社会的変化も現れています。</p> <p>働き盛りの人、定年が近い人、定年後の人にとって、これをどのように捉え、</p>	<p>1) <b>「人生 100 年時代の新生涯現役活動」</b></p> <p>柳原正年氏</p> <p>富山社会人大楽塾代表、日本生涯現役協議会理事、NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会監事</p>	<p>2021 年 9 月 11 日(土) 19:00~21:00 Zoom オンライン開催</p>

	<p>どんな問題意識を持つ必要があるのでしょうか。</p> <p>高等教育機関である大学開放事業の「学び」を学習者はどのように活用し、どのように利用していくのか、After コロナの社会へ向けて、生涯学習機関の学習機会の提供もこれを視野に入れていくことは大切です。</p> <p>人生後半の長期間も、必要とされる自分であり続ける「生涯現役」とは、どんな自分でしょうか。生涯学び続けることは人生を拓くと言われますが、それほどのような学びでしょうか。</p> <p>生涯現役に必要な考え方や学びを長年にわたって提供されている柳原正年氏、社会教育・生涯学習を研究され、多くの社会人を大学に迎え入れている藤田公仁子氏と一緒に、人生100年時代の生き方、働き方、学び方を考えます。</p>	<p>2)「大学開放の可能性と多様な学びへの期待」</p> <p>藤田公仁子氏</p> <p>富山大学地域連携推進機構生涯学習部門教授、放送大学富山学習センター客員教授、NPO 法人全日本大学開放機構副理事長</p> <p>&lt;著書等&gt;『大学解放論』（共著、大学教育出版）、『大学はコミュニティの知の拠点となれるか』共著、ミネルヴァ書房）、文部科学省監修『地域・大学協働実践法』（共著、悠光堂）ほか</p>	
6	<p>「Moodle の可能性をどう引き出すか」</p>	<p>「世界と日本の Moodle」(仮)</p> <p>喜多 敏博氏</p> <p>熊本大学教授システム学研究センター長・教授</p> <p>NPO 法人くまもと LR ネット理事長</p>	<p>(依頼中)</p>
7	<p>「人生100年時代に役立つ e ポートフォリオとは」</p> <p>e ポートフォリオは、一人ひとりが学んできたこと、経験で得た知識など蓄積・記録し、これらをもとにして社会との関わり方を考え、新たな生き方、働き方に生かすことができる可能性を持っています。</p> <p>欧米では、e ポートフォリオを活用した自己開発や自己成長の支援を行うとともに、e パスポートとして学習成果などを証明する社会的仕組みが確立しています。</p> <p>日本では社会人の活用例はあまり見られませんが、培ってきた経験や知識をこれからの社会にどのように生かすか、人生100年時代の社会参加とキャリアシフトのための仕組みとして、その活用方法を一緒に考えます。</p>	<p>「世界の e ポートフォリオ、日本の e ポートフォリオ」(仮)</p>	<p>(計画中)</p>
8	<p>「命を守る生涯学習」</p>	<p>スピーチタイトル未定</p> <p>野澤 令照氏</p> <p>宮城教育大学 上廣倫理教育アカデミー所長</p>	<p>(依頼中)</p>

